

HO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1990. 7. 36号

「毎日が感謝なのです」

京都で6期連続了者大会

兵庫教区内の各組における第六期の組連研を修了された方々一千九百九十一人を対象にした了者大会が六月二十四日、日曜日に京都本願寺会館で盛大に開催された。

当日は六百十六人の修了者と多数のご来賓、連研に従事された住職、坊守様など七百人近い参加者となった。午前の十一時から開会、基調講演では「連研修了者

に願うもの」と題して連研中央講師の波佐間正己師が、「教団の願い、ご門主の願い、聖人の願い」を話され、そして「阿彌陀仏の願いを子や孫に伝え、残された人生をご恩報謝のためにお互いにつくさせていたただきたい」と締めくくられた。午後は昼食の後ご本山へ移動して二百人の帰敬式と書院拝観に分かれ、二時半から会館にもどり体験発表式典があり四時前に閉会した。



体験発表をする谷野富貴子さん

体験発表は阪神北組源照寺門徒の谷野富貴子さん、教区の門徒推進員で赤穂北組西光寺門徒の米田稔氏、続いて東海教区で岡崎市からお招きした門徒推進員の岡田満氏の三人。修了者の谷野さんは次のように発表された。「連研に参加しませんか」とご住職より声をかけていただき、十二回とはいえない二年間、仕事のある私にとつ

てはたして最後まで参加することができたか不安もあったのですが、真言宗の家庭に育った私にとって、行事ごとのおまつりしか知らなかったのです。浄土真宗では見た目の形だけではなく、毎日が感謝なのです。そのような生活の方が、育った家庭より長くなりつつある今、真宗の教えとはいかに深いものであるかなど、この歳にしておこがましいのですが、少しずつわかってきていたような気がします。結婚して一年目のとき、私は出産、そしてわずか二十日の大切な子どもをのちを亡くしました。そんなとき、朝夕仏様の前で正信偈をあげてくれるお父様の姿に、いつしか私も仏様の前で手を合わせていました。この手で育てることのできない我が娘は、先祖様に育てていただくしかない、そう思ったのです。そのためには、自分自身はしっかりとご先祖供養をさせていただこうと自分に言い聞かせてまいりましたが、でも今では、大切な我が子は死んだのではない、み仏様のお浄土に生まれさせていたただきました。何度か

(2ページへ続く)

(平松周章)



テレビ番組で「あなたにはネアカですか」という問いかけがあり、見ていた年寄りが「ネアカ・ネクラって何?」と説明したのだが、最近省略された言葉や意味不明の言葉が多くなると、話が通じないことがしばしばある。話す側がわかっているつもりでも、聞き手がわからないのは何のためのコトバだろう。◆法話でも僧侶の側がわかっていることでも、門徒の側のことを考えて、なるべく平易に話すことを心がけたい◆先祖供養をすることでお悩みのが、利益を授かるように祈願する、それが仏教のように思っている人達に、仏教とは仏に成る教えであることを認識してもらうために「成」を略さないで「成仏教」と伝えていきたい◆念仏もそうである。焼香をし、お念仏しましょうといつても、タダ黙然と合掌の人達ばかり。念仏は仏を念ずるだけでなく、仏様の名号を声に出し、聞かせていただくもの。称名念仏」と伝えていきたいものです。

教区だより		7月			
7月1日(日)	教区仏青連盟委員会	3時	12日(木)	仏婦ブロック 直海玄洋師 岡山北組浄円寺	10時
3日(火)~4日(水)	第三ブロック布教使研修会	奈良市桃山荘	13日(金)	仏婦ブロック 直海玄洋師 神戸別院	10時
5日(木)~6日(金)	第三連区組長研修会	岐阜	14日(土)~16日(月)	別院常例 辻季彦師(揖電西組専龍寺)	1時半
5日(木)	仏婦ブロック 真敷祐弘師(国府教区)	姫路西組本徳寺	15日(日)	仏壮ブロック 藤野堯師(東海教区)	1時半
6日(金)	仏婦ブロック 直海玄洋師(大阪教区)	姫路西組本徳寺	19日(木)	仏婦ブロック 豊浦順海師(備後教区)	10時
7日(土)	第一土曜仏教講座 直海玄洋師	1時半	20日(金)	仏婦ブロック 豊浦順海師 氷上東組照蓮寺	10時
10日(火)	仏婦ブロック 法正良映師(備後教区)	阪神西組西福寺	22日(日)	仏壮ブロック 西池哲俊師(石出組勝林寺)	1時半
11日(水)~12日(木)	組長・副組長研修会	いこいの村はりま	23日(月)	第三ブロック布教大会	大阪津村別院
			26日(木)~27日(金)	近同推寺婦研修会	大谷本廟
			30日(月)~8月1日(火)	教区少年サマースクール	淡路組萬行寺

ぞくぞく実施

各組の御同朋総集大会

十一月七日の「兵庫教区御同朋総集大会」に向けて、各組においても総集大会が僧侶門信徒をあげて取り組まれております。七月以降に予定されている組は次の通りです。

- ▽播磨東組 七月七日。大和殿ホール、百二十人、二千人。
- ▽佐用組 七月七日。法覚寺、三百人、久堀弘義師。
- ▽淡路組 七月八日。洲本市勤労センター・ピパホール、四百人、千五百円、豊島学由師。
- ▽加古川組 七月八日。大和殿・ロイヤルパレス加古川、四百五十人、中西智海師。
- ▽岡山北組 七月八日。津山社会福祉会館、三百人、太田唯念師。
- ▽神戸湊組 七月十四日。顕證寺、百二十人。
- ▽神戸中組 七月二十一日。光尊寺、百五十人、小滝所長。
- ▽多可組 七月二十二日。中町文化会館、五百人、千五百円、小滝所長。
- ▽赤穂北組 七月二十二日。光尊寺、二百人。西脇正文師。
- ▽神姫組 七月二十八日。ふれあいの館、三百人、小滝所長。
- ▽北摂組 七月二十九日。三田市農協、三百五十人、三宮義信師。
- ▽播磨中組 七月二十九日。光尊寺、三百人、小滝所長。
- ▽姫路東組 七月二十九日。姫路東市民センター、五百人、花山勝友師。
- ▽多紀組 七月二十九日。篠山町中央公民館、三百人、西脇正文師、本川智暁師、小滝所長。
- ▽阪神北組 七月三十日。川西市文化会館大ホール、千二百人、二千人、藤田徹文師。
- ▽高砂組 七月三十日。福祉保健センター中ホール、四百人、小滝所長。
- ▽阪神東組 八月四日。伊丹市立文化会館大ホール、千八、千五百円、竹下哲師、長善寺、二百人、小滝所長。

サマースクールに参加を

来る七月三十日から八月一日までの三日間、例年の通り少年連盟が主催する教区サマースクールが、淡路組萬行寺(山本宣昭住職)を会場に開催される。

参加資格は小学校四年より中学三年、参加費は教区登録日校生が一万円、未登録の子供は一万一千円、募集人数は五十人で定員になりしだい締切ります。

▽揖電西組 八月五日。徳行寺、二百五十人、高田慈昭師。

▽氷上東組 八月五日。照蓮寺、百人、小滝所長。

▽氷上西組 八月五日。正覚寺、二百人、松島法城師。

▽宍粟組 八月十九日。西光寺、三百人、小滝所長。

▽新宮組 八月二十六日。新宮町々民センター、二百人、藤田徹文師。

▽姫路中組 九月一日。大和殿、二百五十人、千円、久堀弘義師、寒香知軒師。

▽阪神西組 九月八日。西福寺、五百人、千円、藤沢量正師。

▽神戸西組 九月八日。長善寺、二百人、小滝所長。

参加資格は小学校四年より中学三年、参加費は教区登録日校生が一万円、未登録の子供は一万一千円、募集人数は五十人で定員になりしだい締切ります。

今年もお盆がやって来ます。このお盆を機縁に少しでも念仏のご縁を結んで頂けるようにと、中の折込み一枚を作っております。いつものように一部十五円が頒布されます。また百部以上の申込みは無料で寺号を印刷の上お届けします。(事務局)

「法」を配って下さい

申し込みは兵庫教区教務所内少年事務局まで(岡本担当)参加費を添えて七月二十五日必着で申し込み下さい。

日程としては、三十日正午J.R明石駅または午後一時萬行寺に集合、水泳、磯あそび、キャンプファイヤーなどの楽しいプログラムやおつとめ、ご法話があり八月一日の午後三時、J.R明石駅で解散です。なお、詳しくは参加者に直接連絡します。

岡山北組当林寺住職	義静	5月28日	83才
「白晝院釈義静」本田	ツヤ	6月7日	70才
姫路東組超正寺前坊守	静明	6月8日	65才
「誠慧院釈尼晃観」沢波			
神明組金勝寺副住職			
「寶壽院釈静明」大岡			

お育ていただき喜び

淡路組宣徳寺

谷口 すまゑ

生きる事の喜び深し 拝む身は

これは兵庫教区門徒推進員連絡協議会が発足以降、日常活動の一つとして門徒推進員が作成し、毎月一回会員に配布、会員は自主的にコピーして所属寺、公民

教区として重点目標を 同朋講座 講師研修会 自分の問題とならない

平成二年度も組任職寺族同朋講座が各組において二回以上開催されることとなっております。その講座に教区派遣として出向いただく講師十九人を対象とした講師研修会が六月十三日神戸別院で開催されました。午前十時半から始まった研修会は、昼食を忘れるほど午前午後わたり熱心に話し合われ、話し合いの主題は「元年度の講座をふりかえって」講座の実施、進行と主たるテーマについて「で、始めに元年度三十三組、述べ九十四会場で開催され、その内で教務所職員が出向した六十会場での話し合い発言の内容報告が

読み上げられ、話し合いとされた。その中から「一度もこの講座を実施しない組が六組あるが、いくら助成など教区の予算を取っても取り組んでもらえない。その意識が問題である。」講座で感じる事は「靴をへだてて足をかくもどかしさ」と言うか場当たり的な発言が多いと思う。教区としての主たる重点目標はこれだと決めることも必要である。▽何回研修しても自分の問題とならない。いつでもある問題を起こした寺がどうか、解放団体がどうか、となつて体質の中身まで行かないのでは。▽お経をあげたり、ご法話

以外に念仏者として何ができるのか。差別は現に教団の中にあるではないか。……等々。いろいろの意見が出された。また、協議の結果、講座の実施テーマについては①同和問題と教区②部落の歴史と教団③同朋運動と連研。の三つが決まった。平成二年度の講師は次の十九人の方々です。(敬称略) 足利孝之、瑞穂光信、谷川弘顕、杉本昭典、高崎長英、藤栄行信、森田智、藤野昌俊、近藤龍樹、井上英樹、和田智浄、西脇正文、西脇修、赤松賢秀、布基堯之、松島法城、山崎一朗、西池哲俊、川端正道。

ましまですが、内容の如何に拘わらず、機会を与えられた事を感謝し、その役割を果すために都度全力を尽くす結果はどうあれ一杯やっただという事実とそとの充実感、かけがえのない私自身の人生の今日を精一杯生き抜いた証であると思います。また活動を通して新しい

出逢いに恵まれ、法友との交流のお蔭で法味の深まりゆくのを感じます。多くの方々の支えによって佛徳報恩の実践をさせていただき、実践を通して私自身が育てをいただいている事を痛感する今日、この頃でございませう。

ご法話を聞く機会に恵まれ、教えられるうちに、もう少し浄土真宗の教えが知りたいたいと思ひました。そして第一回目、連研とは自分を変える「人をゆるすのではなく、人から自分がゆるされる人間」と教えられました、大変むずかしい問題だともいいました。その言葉を耳にしてそろそろ二年半になります。いまだに答えを出すことのできない自分です。すっかり組まれたカリキユラム、教義はむずかしくそのときは「はい、わかりました」と思えたことも、今ではどれほど頭の中に残っていることでしょうか。作法の中では日常生活に必要なことを、たくさんおそわり、そのつど自分なりにできるだけ努力してみようと回を重ねて十二回を向かえる頃、自然に身についていたこともいくつもありました。そして話し合い、真剣になること度々でした。今も強く心に残っているのは、仏様の前で手を合わせ、お願いをするのではなく、み仏様にみまもられ、お念仏によって慶ばせていただく毎日、と学びました。皆さんは、どうでしょう。

(1ページから続く) 仏様の前で手を合わせ感謝できるでしょうか。悲しいかな、私は父に手を合わせることを教えられましたが、二十四年あまりお願いばかりしてまいりました。みんなの健康を、そして本当の意味での幸せを、それを守ってくれるのはご先祖様しかいないと信じていたからです。そんな私にとって、頭の中ではわかっていながらも、今も朝夕手を合わせるとき、遠く離れて一人学生生活を送る息子の無事を感謝しながらも、やはりお願いしている毎日なのです。ただ一つ、これからの自分の課題として、何事にも素直に感謝のできる人間、そういう人間に一步一歩あゆんでいきたいとおもいます。

HOPE

正信偈を勉強

◆5月25日 播磨中組正願寺前任職故岩田眞雄様の葬儀に本山よりの達書伝達に教務所長参列 ◆27日 神戸湊組浄栄寺後住小宅匡様が別院で仏前結婚式 ◆神戸東組西方寺藤山和基住職継承法要に本山よりの祝辞伝達に教務所長出席 ◆28日 門徒推進員役員会 ◆29日 門徒大会行事部会 ◆30日 同兵宗連總會を神戸のじぎく会館で ◆31日 6月2日 第九回世界仏教婦人会大会がカナダのバンクーバーで開催。兵庫教区からは六つのコースに分かれて百四十二人が参加、歓迎晩餐会と同じテーブルとなったバンクーバーの仏婦会は二百人、会長さんは「皆様をお迎えするディナーを決めるためにメンバーの代表が何回か試食に来て今日のメニューとなりました。山本さんは滋賀県から移住の二世だそうで、世界大戦時にカナダの内陸部の収容所へカバン一つで送られた苦労や今、バンクー

カナダ仏婦大会へ142人



バンクーバーのコンベンションセンターでの晩さん会

パーの仏婦会員は二百人、手伝いができたのは半分の百人で残りの半分は老人ホームや家で寝たきりで活動出来ないんですよ。どの苦労話や受付を手伝ってもらっている娘さんを紹介してくれたり、このテーブルの素晴らしいホスト役に三時間のディナーを共にした方々から握手と写真せめにあいませう。(写真)

◆6月2日 第一土曜仏教講座。講師は大阪教区より都呂須孝文師「弥陀の救いは老少善悪をえらばれず、病氣は人間を育てます。病気のままでおかげさまと言えぬ宗教……」 ◆3日 城崎組結集大会を豊岡のブルーランドで開催 ◆5日 同朋運動四十周年記念大会を本山。教区からも宗会議員、教区会議長、組長会長や基推委、組織代表など

参加 ◆6日 結集大会庶務部会 雅楽を勉強する有志の方々が集まる清風会を別院で ◆7日 結集大会渉外・財務部会 別院若婦人学習会。お正信偈を順に勉強しています ◆8日 婦常例。講師は寺田寛了師(揖電西組浄教寺) ◆9日 スカウトクラブ総会。終了後会員研修「土の会」仏教章取得についてとのテーマで赤松義光師(網干組政源寺) ◆10日 教区仏徒連盟理事會。東播大会の経費報告と反省ブロック研修の内容など、教区内でも地域によって事情が違うのでブロック研修のプログラムや参加費も別に決めたい」と仏徒理事 ◆別院仏前結婚式。新婦が山口教区の寺院の娘さんでした ◆神戸東組結集大会を西山記念会館で開催、所長祝辞 ◆11日 教区布教団総会研修会を姫路西組本徳寺。役員改選となつていたが役員任期を本山と合わせるため、現役員にもう一年お世話いただくこととなった。研修会講師は山田行雄師(岐阜教区) 現在の教学問題についての講演の中で、最近出版の有名な著者の中で、親鸞聖人独自の思想として「阿弥陀如来は念仏信者の人間に極楽行きのキップを

布教使の47人

与えたばかりではなく、極楽からこの世へ帰る還りのキップまで与えたというのである」とあるが、それを聖人の思想と捕えられることの誤りも正された ◆教区保育連盟総会。六月三十日に神戸チサンホテルで兵庫が担当で開催の近畿ブロック保育大学講座の持ち方の中で「当日のレジュメは、この講座が終わった後も開いて見たいような内容と体裁にしたので広告も取り、少しりっぱなものにしてはどうか」との意見もあった ◆門徒推進員役員会 ◆12日 研修読本作成チーム会議。各章ごとにチームを決め、各項目の執筆原稿をチームが検討し会議となった ◆社会福祉推進協議会兵庫支部評議員総会。予決算、事業計画など基推委社会福祉専門委員会と合同での協議会とした ◆勤式練習。別院永代経での勤式作法の練習。

法

みのり

念仏まうすのみぞ すえとほりたる大慈悲心

お盆に因んで

む 瑞夢
あぐる 騰



ます。

たゞ自力をすて、いそぎ浄土のさとりをひらきなば、六道四生のあいだ、いづれの業苦にしづめりとも、神通方便をもち、まず有縁を度すべきなり。

と仰せられます。「たゞ自力をすて、いそぎ浄土のさとりをひらく」ことは、「たゞ念仏して、弥陀にたすけられまいらす」(第二巻抄)

こととは、表面からと、裏面からとのいいあらわしかたであつて、ともに選択本願他力に救けられる

唯一無二の道を示されたものであつて、念仏して自らの救けられる

唯一の道(第一巻抄)と、衆生を救けるために、自らのとるべき無二の道(第二巻抄)とは、共通の道であつて、自

らの救けられる道を行くというこ

とが、そのまま他人を救ける道を行くということになつて

あります。その道とは、選択本願他力の白道(南無阿弥陀仏)なのであります。

益を迎えるに当つて、業苦に

づめる有縁のものを救けんがため

には、まず「いそぎ」、自らの浄土のさとりをひらき、仏になつて、

救けられる本願他力に帰して、念

仏よろこぶ身にならねばなりません。この本願念仏の声を聞いて、

有縁の人も救けられてゆくに間違

いありません。浄土真宗では、お

盆を歡喜会と呼び、追善追福をなさぬ所以もこゝにあるのでしよう。

(阪神南組・教専寺)

今日のわれわれにとつては、非常に親しみの深い「お盆」という言葉は、もともと『孟蘭盆経』の中に、仏の弟子目連尊者が、その母の餓鬼道に墮ち、倒懸(さかさまにつるされる)の苦しみを受けているのを見て、これを救う法を仏に問うたところ、仏は毎年七月十五日僧達が安居のおわる日に、百種の供物を盆にもつて、三宝に供えてその威を請えば、七世の父母を救い得る、と教えられたところに基づいておこつた。先亡者を祀る供養会というのであります。古く六世紀前半から、中国日本で行なわれ、いろいろの伝説をも生じ、習俗化して今日にまで伝えられているのであります。

このように、父母に孝養をつくし、死後は追善追福をなすということとは「孝は百行の基」といわれて、東洋倫理思想の根本とされてきた、うるわしい行事であります。親鸞は父母の孝養のためとて、

一返にても念仏まふしたること
いまださふらはず(第五巻抄)

とおほせられます。人間として

の最大美徳を無視されて、世間出の最大の教えに背いているようにも思われる言葉であります。聖人は八歳にして両親と別れ、薄倖の身となられたことは、人並以上に人生の無常を感じられ、両親に対する哀慕の情も切なるものがあつたはずで、老境に入つてからの和讃に「大慈救世聖徳皇 父のごとくにおはします 大悲救世親世音 母のごとくにおはします」とうたわれているもの等からうかがえば、幼にして別れた父母に対する哀切なる感情がこめられていることが感じられます。にもかかわらず、父母孝養のために、一返の念仏申したることなしと仰せられるのは、聖人にとつては、念仏とは、阿弥陀仏が三世十方世界の衆生を、この念仏の声をもつて、もれなく救けんとせられる、本願他力の私の上にはたらき給うている声なのであります。それを一人の善根と取りきつて、自分の父母のみの幸福を願つて、追善しようとするようなことは、一返もな

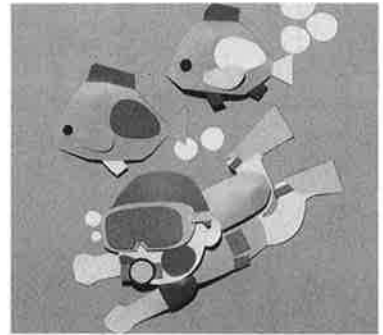
いと仰せられたのであります。とはいつても、聖人は恩師法然

上人の御命日二十五日には、念仏して上人よりこうむつた御恩のおかげで、今日の我身のある幸せを報謝するために、その命日を縁として、仏事法要を営んでござつたのでありますから、両親の命日の法要もつとめられておつたことは当然でありましょう。しかし、末世の煩惱具足の身をもつては、わが親のよきところに詣つておるであろうか。あるいは悪道に墮しておるであろうか、知るよしもありません。でも何とか、よきところにあれかしと、哀れみ、いとおしみ、願う心も痛切であればあるほどに、煩惱にまどわされて、自分自身の前途もはつきりすることを得ず、自分みづからを救う力のないものが、いかにしても、他人を救う力がありえようはずがないところに、大きな悩みが起るのであります。

この悩みを通して、聖人は、ま

ずみづづからが如来の本願力に救われるほかにない、みづづからが本願力に救われた、その歡喜を基として、他人を救うてゆくほかにない

死は生を
おいやぶ一つつも
生の真相とくす
鏡とま



みほとけの
みねとね、えろ
我が声は
我が声ながら
尊かりけり

お水を供えてはいけないか

お仏壇に、茶湯器や一般のコップを使って水を供えている方がいます。これはほとんど習慣的なもので、うで「毎日欠かしたことがありません」と、誇らしげにおっしゃるおばあさんもいます。「なぜ水を供えるの？」と聞くと「仏さまのどが渴かれるでしょう」との返事。

「仏さまや故人ののどを潤すため」と思っているようです。しかしながら、故人が往生された如来さまのお浄土には「八功德水」という「特上」のお水がふんだんにたたえられてあり、わざわざ私たちが「水道」の水を差し上げる必要はないわけです。

「仏さまや故人ののどを潤すために浄土真宗では華瓶という仏具を用います。仏事には一定の作法があり、ご飯（お仏飯）を供えるにはお茶碗ではなく、仏飯器を用いるように、お水を供えるには茶湯器でなく、華瓶を用いるという

わけです。すなわち、華瓶一对に水を入れ、櫛または青木を挿し（色花は用いない）、上卓に置きます。櫛を入れるのは香木だからで、つまり香水として供えるのです。仏さまのお恵みを浄らかな香水にして供えるところに敬いと感謝の心が込められていると言えましょう。なお、華瓶がなければあえて供える必要はなく、お茶も供えませんが、本願寺出版社発行の「末本弘然著 仏事のイロハ」より

お仏壇・お仏具のお求めは、創業180余年の浜屋へ

大切にしたい日本の心

やすらぎのある生活
浜屋の願いです。

やすらぎの世界を創る



浜屋

和	田	店	45	-2211	代
和	田	店	61	-2211	代
和	田	店	51	-2211	代
和	田	店	54	-2211	代
和	田	店	783	-2211	代
和	田	店	71	-2211	代
和	田	店	29	-2211	代
和	田	店	83	-2211	代
和	田	店	22	-2211	代
和	田	店	388	-2211	代
和	田	店	53	-2211	代
和	田	店	75	-2211	代
和	田	店	413	-2211	代
和	田	店	51	-2211	代
和	田	店	371	-2211	代
和	田	店	621	-2211	代
和	田	店	927	-2211	代
和	田	店	37	-2211	代
和	田	店	43	-2211	代
和	田	店	22	-2211	代
和	田	店	75	-1316	代
和	田	店	62	-2235	代
和	田	店	62	-2211	代
和	田	店	93	-2011	代
和	田	店	900	-2211	代
和	田	店	97	-2211	代
和	田	店	22	-2211	代
和	田	店	88	-2211	代

